

讀者論談

投稿 歡迎

青年諸君へ

(十) 四倉町 吉田松雄
その現實と理想とを區別して
彼是といふて議論してゐるは
決して神でもなく佛でもなく
勿論他の動物でもなく、文明
人と誇る人間許りである。そ
の文明人といふ人間の心身を
解剖して見ると現實と理想と
半分／＼で捏ねあげた様な動
物である。透明と光明との理
想の半分があるかと思ふと、
不透明と暗黒との現實が半分
ある。

ハガキ集

(投書 歡迎)

▲先達て本欄に四倉小學校のイ
先生の事が出ましたが、あ
の先生は眞當に嫌な人です。
生徒の私達にまで變な笑ひ方
をするのですもの。

(高等一年生)

▲メツカチ君
人の眼を言ふな、亦己れの善
も云ふな！ 他人の荒を探さ
ず、時にやメツカチ自身で暴
露しろ、己れの荒をな。
キツ、自分から己れに對して
悲觀するだらうせ、私はイ
先生に同情する、何も私はイ
先生に對して好意を持つて
居る譯ぢやね、唯眞面目な
テイチャアに對して云ふ君が
憎いからだ、君は其れで良か
らう、然し後どの結果を惟へ
ば斯んな惡戯も君に悔悟させ
ずには居られないではないか
？ 最々、廣大な氣持に成つ
てはどうか？ 此の莫迦野野！
俺はメツカチ自身の正体は解
ら無いが、其りや罪深い事だ
無智な俺でせよも貴様の頬を
撲り飛ばしてやりたい。紳士
的な態度を取れ！ 意氣地無
し奴！ 俺も君の惡を云はな
いサア、心よく別れようぜ！
(濱の兒イ)

石炭の大特賣

塊炭正味十貫目

一俵 金二十錢也

▽品が良く「値が安く」「目方は正確」です
▽トニカク一度使つて見て下さい
▽配達は一俵より致します

御注文は……電話三七番へ

平 驛 前

阿部石炭店

夏は……白靴

かるく涼しき

丈夫な靴

大塚製(三ヶ年耐久保証)

船來防水草底 金五圓

優秀白靴 五十錢より
かわいお子さんの靴 (横ボタン) 六十錢まで

大塚支店製靴部

電話七十七番

横濱植木株式會社特撰

草花・蔬菜類

優良種子

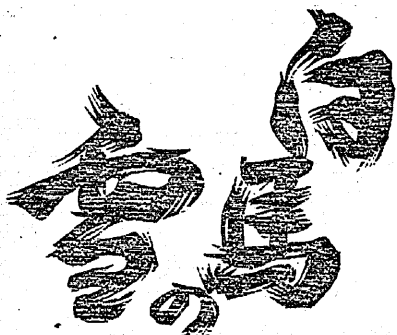
各種賣出し致しました。

農園藝薬品の御相談は

西村屋藥局
電話三番

優等賞入選

芳醇銘酒



キユノバクハ

去る十八日より二十日迄平務署に於て開催されたる
石城酒造組合主催第十三回清酒酒會に於て三點とも
最優等賞を得たり。

平町二丁目一

白馬の雪營業所

辰の口本家 松本徳一

電話一五四六營業所
二八五本 店

氷水始めました

蒲鉾製造販賣期間中は多大の御引立に預り厚く御禮申上
げます。今回例年の通り氷水及アイスクリム其他氷加
工清涼飲料物の製造販賣を開始致しましたから多少に拘
はらず御用命御引立の程願ひ上げます。

例年の通り味は百パーセント

- ▽アイスクリム 十 錢
- ▽アツキアイス 五 錢
- ▽水豆 八 錢
- ▽ミルクセーキ 十五 錢



出前迅速

藤市
電話三〇五番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

謹啓 父伊藤芳吉病氣の處六月二
十八日午後十一時三十分死去仕候間
御通知申上候

追而葬送の儀は來る七月二日午後三時自宅出棺賣國
寺に於て佛式相替ひ候
昭和七年六月廿九日

石城郡飯野村

男 伊藤淺之助
親戚總代 芳賀元治
友人總代 山崎吉平

電話特別開通ノ申込受付

- 一、受付期間 七月(自十一日)二十日開
- 一、設備費用 金貳百四拾圓(前年ハ四百圓ノ處)
- 一、申込用紙 當局ニ備付アリ
- 一、其他 詳細ハ當局窓口又ハ電話七〇〇番ニ
照合ノコト

平郵便局

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼醫院
電話平國五〇七番